

第六次白石市総合計画・地域づくり計画【斎川地区計画（令和4年度～令和8年度）】

テーマ：絆とつながりをさらに強め、持続可能なまち「斎川」を育む

基本方針	具体的な取り組みの方向性		事業実施年度					備考
			R4	R5	R6	R7	R8	
1. 住民同士のコミュニケーションをもっと密にし、隣近所でのささえあいと若者・中堅世代の地域参画が、日常的にある仕組みを構築していきます。	①	幅広い世代が気軽に集い・交流できる場・居場所をつくる。						重点施策
	②	住民が関心が高まる情報を、効果的・効率的に発信・伝達していく。						
2. 空家や耕作放棄地の増加を抑制し、次世代が住み続けたいと思える環境を維持していきます。	①	空き家・遊休農地の実態を、地区独自に調査・把握する。						重点施策
	②	農作物の鳥獣被害対策を、研究・実施していく。						
	③	体験等を通じて農業の魅力を若者に伝える。						
	④	外から人を呼び込めるような耕作放棄地の有効活用を検討していく。						
3. 農作業や趣味・小商いなどで毎日が充実し、健康的に暮らしつづけられる地域にしていきます。	①	住民が主体的に取り組む新たな事業やコミュニティビジネスなどを、地域ぐるみで支援・後押しする。						
	②	多様な住民の参加・協力を得ながら、産直センターの有効活用を図る。						重点施策
4. 地域のさまざまな課題に対し主体的に行動を起こせるよう、斎川公民館を核としたコーディネート機能の拡充を図ります。	①	各団体の活動や有している情報を共有し、お互いの連携を強化していく機会・仕組みをつくる。						
	②	課題解決や住民が必要とするテーマ（ICTスキルなど）の学習会を充実させる。						重点施策
5. 「甲冑堂・桜の回廊」等の史跡やこころ柿づくりなどの伝統文化を大切に、次の世代に継承していきます。	①	斎川お宝マップを活用したまちあるきを推進し、イベント等を企画・実施する。						重点施策
	②	歴史的資源を継続して維持・管理していくための方法を検討する。						
	③	伝統文化を継承する取り組みを、継続・充実させていく。						